

# 国語科学習指導案

日時 2005年9月8日(木) 3時間目  
児童 5年1組 36名  
授業者 市川 淳子

1. 教材名 「大造じいさんとがん」(5年上) 作者 椋 鳩十

## 2. 教材について

### (1) 教材観

この教材は、猟師である大造じいさんとがんの頭領である残雪との間に繰り広げられた4年間にわたる駆け引きが描かれている。この中で、大造じいさんは、「いまましい」と思っていた残雪が仲間を救うためにはやぶさと夢中になって戦う姿を見て、感動を覚える。そして、残雪の行動に人間と共通したものを感じ、「堂々と戦おう」と声をかけるのである。

子どもたちは、人間と動物の生存をかけた緊張感のある戦いを描いた本教材には、大きな感心を寄せることと考えられる。大造じいさんが考え出す手法をことごとく見破る残雪、仲間を救うために命がけで戦う残雪を「がんの英雄」と呼び、その力に繰り返し挑戦する大造じいさんの姿に共感を待って読み進めるであろう。

また、情景描写や心理描写が分かりやすく、「叙述に即して登場人物の心情を読み取る」事や、それを「感情を込めて朗読する」事を目指す5年生にとってふさわしい教材である。

### (2) 表現の特徴

#### 漢字

頭領、羽音一番、案の定、会心の笑み、羽毛、攻撃の姿勢  
体勢、花卉、爛漫、英雄

#### 声喩

バーン、ぱっと、ぐっと、ふらふらと

#### 比喩

・・・子どものように喜んだ  
・・・羽が白い花卉のように・・・  
・・・鳥とはいえ、いかにも頭領らしい・・・  
・・・雪のように清らかにはらはらと・・・

#### 色彩語

真っ白な混じりも、あかつきの光、黒く点々と、青く澄んだ空、真っ赤に燃えて、白い雲、白い羽毛、白い花卉、くれないにそめて、らんまんときいたすももの花、雪のように

#### ※関連して読ませたい物語

##### ★椋鳩十作品

「金色の足あと」  
「黒ものがたり」  
「片耳の大しか」  
「たたくカモシカ」

##### ★動物に関する物語や読み物

「ファーブル昆虫記」  
「シートン動物記」

### (3) 主題

残雪の知恵や責任感のすばらしさに感動する大造じいさんの人間らしさ正義感を土台とし、決して交わることのない厳しさ、悲しさ、美しさがこの物語の主題である。

### (4) 作品分析・・・別紙

### 3. 児童の実態

何事に対しても積極的で、国語科にも意欲的な学級である。次第に集中力が付いてきて、発表も活発になり、論議を楽しもうという場面も見られつつある。

しかし、個々の児童の各領域での力には、相当差がある。特に、自分の考えを問われる場面で、自分なりに考えられず、すべて、他人任せにしてしまう児童が数名いる。そのような児童への興味付けが学級の課題である。

表現力の向上では、特に、音声表現活動に力を入れ、1時間の中で、一人ひとりの読む時間を保証してきた。また、他教科や発表会などを利用して、どの子も「大きな声で、はっきりした口調で、言葉の表情を大切に」などを強調して指導してきた。その結果、それなりの力が付いてきた。

5年1組には、バスケットが好きな子が多い。私は、子どもたちがバスケットに興じる時のエネルギーを授業でも発揮させたいと思っている。また、バスケットのパスのごとく子どもたちに練り合わせたい。練り込んだ球（解決）を教師にシュートするそんな学級集団を育てたいと願っている。

### 4. 教材の目標

- 情景描写を豊にイメージかし、大造じいさんの心情の変化・深まりを読み取る
- 情景描写に託された大造じいさんの心情を生き生きと読み取る
- 主題を理解し、生き方・考え方などに対して、感想を持つ

### 5. 全体指導計画

	時	学習内容・手順	音読・朗読
初め読み	1	①通し読み・初発の感想	○誤読がない ○はっきり
	2	②新出漢字・難語句調べ・音読練習	
	3	③時・場所・人物の押さえ・あらすじ・音読練習	
	4	④場面分け・音読練習	
調べ読み	5	①獵人たちから、特に「残雪」と呼ばれるほど力を持っている一羽の雁をイメージする ②「残雪」をいままく思っていた大造じいさんの気持ちを読み取る	○様子や気持ち が分かる音読 ○言葉の使い方 が分かる音読
	6	③特別な方法が成功し、喜ぶ大造じいさんの様子と気持ちを読み取る ④残雪の知恵に感心する大造じいさんの様子と気持ちを読み取る	
	7	⑤周知に用意した計画で雁を捕らえようとする大造じいさんの様子 と気持ちを読み取る ⑥雁を待つ大造じいさんの様子 と気持ちを読み取る ⑦「ううん」となってしまう大造じいさんの様子 と気持ちを読み取る	
	8	⑧おとりを使って「残雪」に挑大造じいさんの様子 と気持ちを読み取る	
	9	⑩はやぶさと「残雪」に導かれる雁の動き、おとりの雁の様子と、それ を見ている大造じいさんの気持ちを読み取る ⑪「残雪」とはやぶさの戦いの様子をイメージ化する ⑫「残雪」の頭領らしい態度をイメージ化し、その姿を見る大造じい さんの気持ちを読み取る	
	10	⑬「残雪」を見送る大造じいさんの様子 と気持ちを読み取る	
まとめ読み	11	①物語全体を振り返り、大造じいさんの残雪に対する心情の変化をまとめる	○様子が伝わる よう朗読する
	12	②感想文・全文朗読・漢字・語句練習	
	13	③テスト	

5. 本時の目標

- ①残雪とはやぶさのすさまじい戦いの様子をイメージ化する。
- ②残雪の頭領らしい堂々とした態度と、その姿に強く心を打たれる大造じいさんの感動を読み取る。
- ③積極的に話し合いや発表ができる。

6. 本時の展開 (9/13)

過程	時間	学習内容	教師の動き	児童の活動	留意点
つかむ	2	学習のはじまり 前時想起 本時場面の確認	1 作品名・作者名の確認 2 前時の大造じいさんを想起させる 3 場面確認をさせる	● 椋鳩十作 「大造じいさんとがん」 ● いよいよ戦闘開始 ● 3の場面後半	
深める	10	学習場面音読  イメージ化 ・言葉から	①音読 音読練習(バラバラ読み) 指名読み(3-4の場面) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はやぶさ・雁の群・おとりの雁の様子を読み取る</span> ③叙述の確認 ・一直線に・・・落ちて・・・ ・実に素早い動作で・・・ ・飛び去って・・・ ・一羽飛びおくれた・・・ ・ぱーんと一つ蹴った ・・・・暁の空に光って消えた	③文意即して叙述を上げる	遅れている児童支援
	10		④見ていた大造じいさんの気持ちを考えさせる ⑤残雪が来たときの大造じいさんの気持ちを考えさせる	④おとりは、もうだめだもうやられた ⑤助けに来たんだ今だ、撃ってやる撃つのはやめた	
	5	叙述の把握  イメージ化 ・言葉から ・音読から	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">戦いを見ている大造じいさん</span> ⑥音読(3-5 3-6)指名読み ⑦戦いの様子を発表させる ⑧戦いはどうなったか ⑨大造じいさんから見た残雪の様子は	⑦いきなりぶつかり力いっぱい殴りつけた ・ふらふらよろめいた残雪の・・・飛び込んだもつれ合って落ちていた ⑧はやぶさは、逃げていったが、残雪は、グッとにらみつけた ⑨頭領らしい堂々、じたばたしない威厳	
まとめる	8	学習のまとめ  文章化 朗読	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">強く心をうたれて、ただの鳥に対してのような気がしなかった</span> 1. このあと残雪にかけた言葉を書かせる 2. 朗読させる	1. じいさんの気持ちを話言葉で書く 2. 朗読する	じいさんの気持ちをふり返りまとめる

7. 本時の評価

- ①叙述に即した、イメージを広げ、残雪の必死に戦う姿や最期まで堂々としている姿に感動するじいさんをイメージ豊に読み取ることができたか。
- ②学習に対して自分なりの考えを持ち、さらに、それを深めようと主体的な態度であったか。